

# 認定書

国住参建第 1673 号  
令和 4 年 8 月 16 日

積水化学工業株式会社  
代表取締役社長 加藤 敬太 様

国土交通大臣 齊藤 鉄夫



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 4 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

## 記

1. 認定番号  
PS060WL-1203
2. 認定をした構造方法等の名称  
給・排水管／アルミニウムはく張ガラスクロス・黒鉛含有ブチルゴムシート・ロックウール・シーリング材充てん／壁準耐火構造／貫通部分
3. 認定をした構造方法等の内容  
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

(別 添)

1. 構造名

給・排水管／アルミニウムはく張ガラスクロス・黒鉛含有ブチルゴムシート・ロックウール・シーリング  
材充てん／壁準耐火構造／貫通部分

2. 寸法及び形状等

(寸法単位：mm)

項 目	仕 様	
開 口 部	形状	円形
	面積	22,698 $\pm$ 2,269 mm <sup>2</sup> 以下
占 積 率 (開口面積に対する管 の総合計の割合)	85.90%以下	
貫通する壁の構造等	(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする (1)建築基準法施行令第112条第2項に掲げる基準に適合する壁(1時間) 又は建築基準法第2条第七号の規定に基づく壁(1時間) (2)ALCパネル (3)コンクリート 厚さ100以上	

3. 材料構成

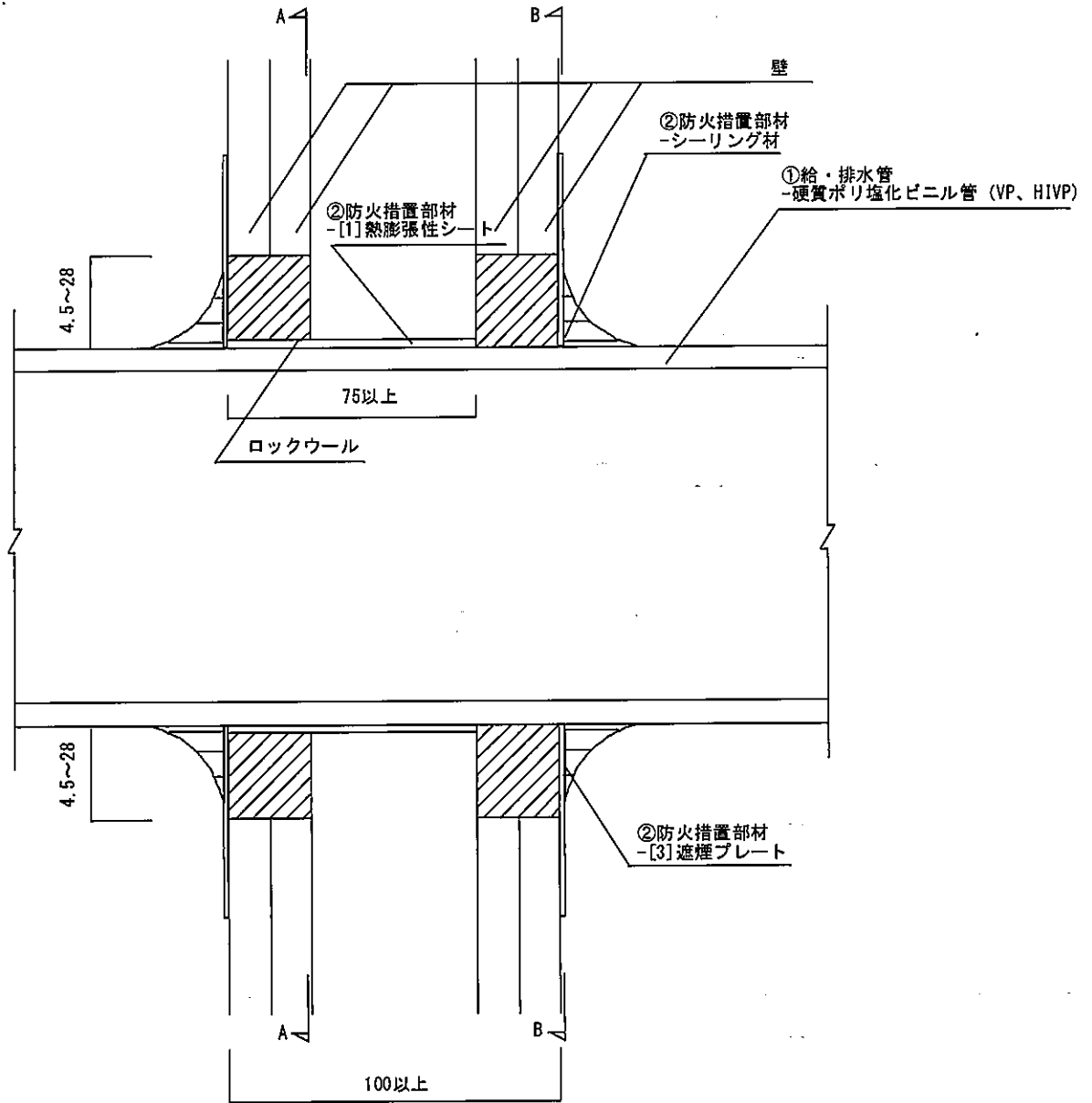
(寸法単位：mm)

項目	仕様
①給・排水管	<ul style="list-style-type: none"> <li>・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP、HVP)</li> <li>・規格：JIS K 6741、JIS K 6742</li> <li>・外径：114<math>\pm</math>11.4以下</li> <li>・厚さ：(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)6.6<math>_{-0,+1.0}</math>以下 (JIS K 6741)</li> <li>(2)7.1<math>\pm</math>0.5以下 (JIS K 6742)</li> </ul> </li> <li>・本数：1</li> </ul>
②防火措置部材	<p>[1]熱膨張性シート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総厚さ 2.14<math>\pm</math>0.21以上</li> <li>・幅 75<math>\pm</math>7以上</li> </ul> <p>[1]-1 基材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質 アルミニウムはく張ガラスクロス</li> <li>・厚さ 0.14<math>_{-0.03,+0.05}</math>以上</li> <li>・幅 75<math>\pm</math>7以上</li> </ul> <p>[1]-2 シート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質 黒鉛含有ブチルゴムシート</li> <li>・厚さ 2.0<math>\pm</math>0.2以上</li> <li>・幅 75<math>\pm</math>7以上</li> <li>・組成 (質量%)</li> </ul> <p>[2]ロックウール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 平成12年建設省告示第1400号、 JIS A 9504</li> <li>・密度 55<math>\pm</math>15kg/m<sup>3</sup>以上</li> <li>・深さ 25<math>\pm</math>2以上</li> <li>・幅 4.5<math>\pm</math>0.4～28<math>\pm</math>2</li> </ul>

項目	仕様
②防火措置部材 (つづき)	<p>[3]遮煙プレート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質 (1)～(12)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)ポリエチレン系樹脂</li> <li>(2)アクリル系樹脂</li> <li>(3)シリコン系樹脂</li> <li>(4)ポリ塩化ビニル系樹脂</li> <li>(5)塗装溶融亜鉛めっき鋼板 JIS G 3312</li> <li>(6)溶融亜鉛めっき鋼板 JIS G 3302</li> <li>(7)溶融亜鉛-5%アルミニウム鋼板 JIS G 3317</li> <li>(8)クロームめっき鋼板</li> <li>(9)ステンレス鋼</li> <li>(10)鉄</li> <li>(11)アルミニウム</li> <li>(12)アルミニウム合金</li> </ul> </li> <li>・外径 230 以下</li> <li>・厚さ 1.5 以下</li> <li>・粘着テープ・接着材 有機質量 500g/m<sup>2</sup> 以下</li> </ul> <p>[4]シーリング材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質 (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)シリコン系樹脂</li> <li>(2)変性シリコン系樹脂</li> </ul> </li> <li>・使用量 幅 10 あたり 40g/m 以上</li> </ul>

4. 構造説明図

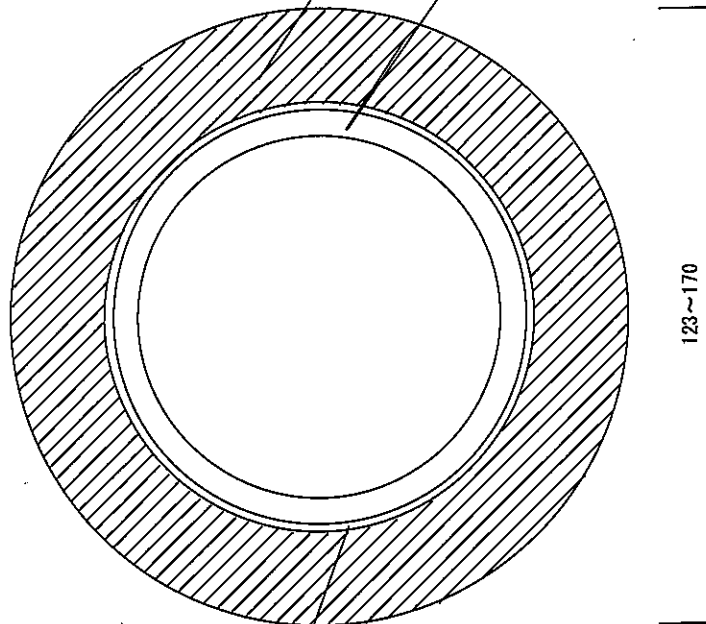
(寸法単位：mm)



②防火措置部材  
-[2]ロックウール

(寸法単位: mm)

①給・排水管  
-硬質ポリ塩化ビニル管 (VP、HIVP)



123~170

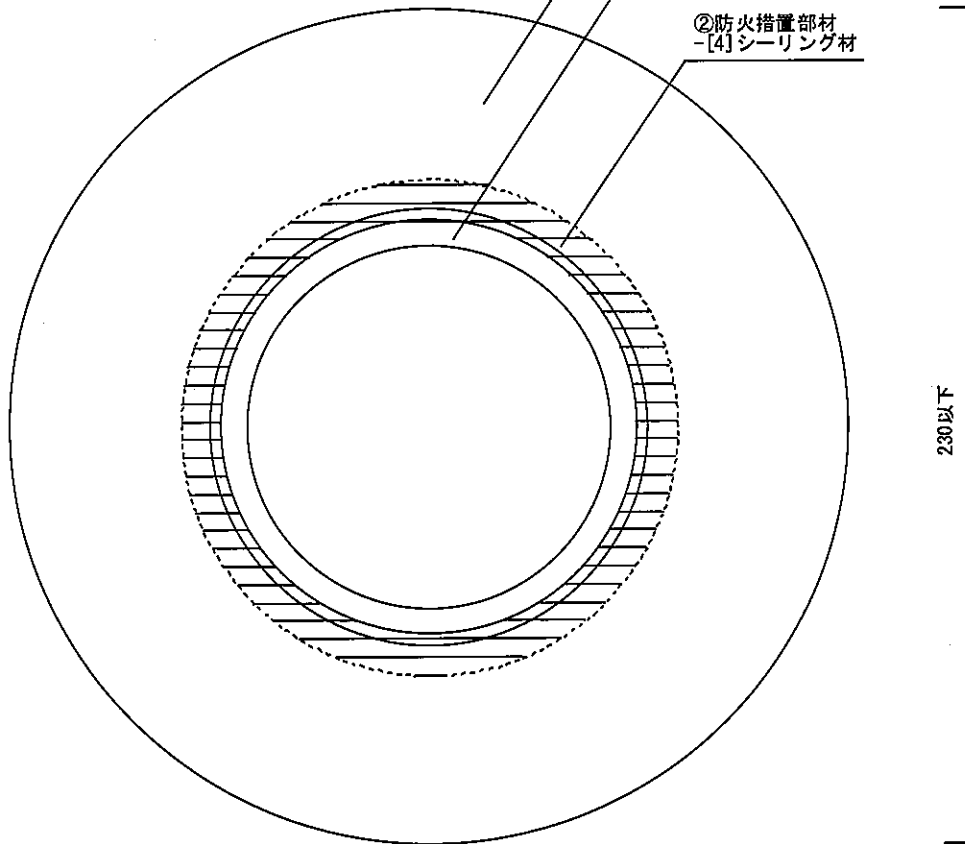
②防火措置部材  
-[1]熱膨張性シート

A-A 断面図

②防火措置部材-[3]遮煙プレート

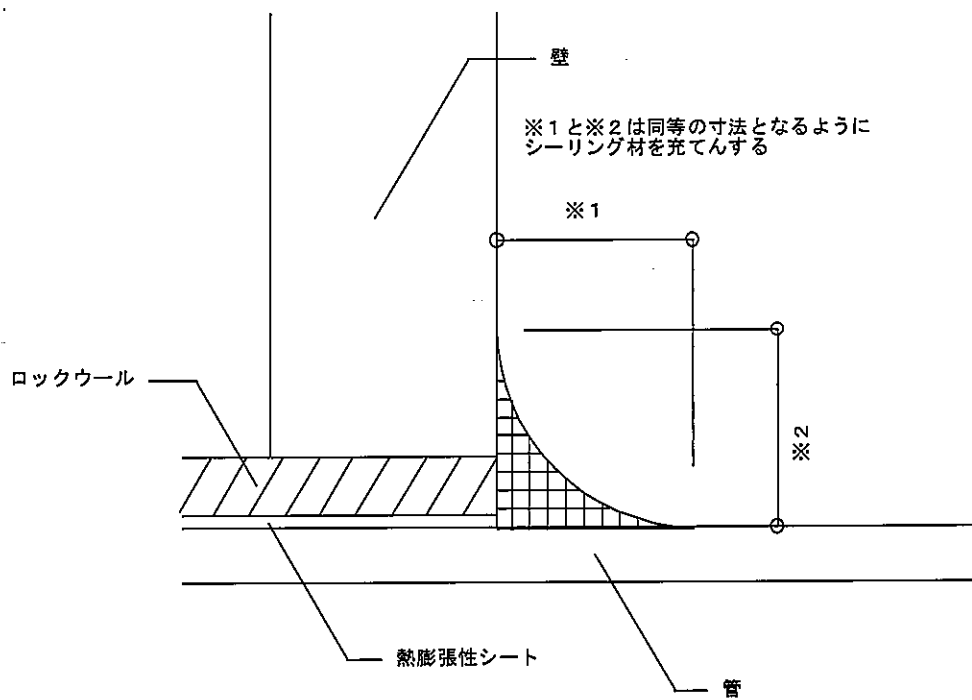
①給・排水管  
-硬質ポリ塩化ビニル管 (VP、HIVP)

②防火措置部材  
-[4]シーリング材



230以下

B-B 断面図



シーリング材 充てん詳細

構造説明図 (施工図)

注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

## 5. 施工方法等

### <施工手順>

#### (1) 事前準備

管が区画貫通する位置に予め開口部を設置する。

#### (2) 区画貫通処置

##### ① 熱膨張性シート巻付け位置の設定

熱膨張性シートを巻付ける位置に墨出しをする。墨の位置は熱膨張性シートが壁体内に75mm以上巻付けられる位置にする。

##### ② 熱膨張性シートの巻付け

管に熱膨張性シートを巻付ける。熱膨張性シートは巻物のまま直接管に巻付けてもよいし、所定の長さに予め裁断したものを巻付けてもよい。また、熱膨張性シート巻付けの初端と終端は隙間なく必ず接するように巻付ける(オーバーラップ可)。

##### ③ 管の設置

墨出しした位置に合わせて管を設置する。

##### ④ 開口部の処理

両壁面側の隙間にロックウールを充てんする。ロックウールはシート状のものを25mm以上の深さで切断したものを充てんしてもよいし、円筒状のものを25mm以上の深さで切断したものを挿入してもよい。

ロックウール充てん後、遮煙プレートを貼付け、遮煙プレートと管の隙間をシーリング材で埋める。

## 6. 注意事項

・本構造に使用される熱膨張性シートについては、耐久性に留意し、所定の防火上の性能が維持されるよう、納品前には仕様寸法の確認を行い、保管時には湿度や直射日光を避けるなど適切に保管する。

・木造の耐火構造及び準耐火構造の壁については、壁内部への火熱が侵入しないよう、ファイヤーストップ材を設けるなど適切に施工する。